

岐阜県山県市のインフラについて

橋梁 602橋



トンネル 1本



道路 645.4km

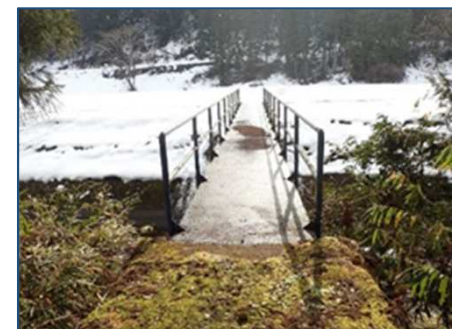


上水道 378.2km
下水道 220.8km

インフラメンテナンスに関する課題、取組、今後の展開

現 状

- 橋 梁 ： 健全度判定 IV-2橋、Ⅲ-18橋
 - ⇒ ・ 市内北部地域の人道橋 9 橋
 - ・ 10m以下の小規模橋梁 9 橋
 - ・ 交通量が少なく、重要度も低い橋梁
- 上水道・舗 装 ： 全体的に老朽化が進行



課 題

- 維持管理コストの増加、財源不足、人材不足
 - ・ 直営点検できない橋梁が多く、直営人員も不足
 - ⇒ 定期点検の委託費が必要（経常経費）
 - ・ 年々増える健全度判定Ⅲ、Ⅳの橋梁に対する補修費の増加
 - ・ 国の補助制度だけでは賄いきれない
 - ・ 土木技術系職員の採用なし、定年退職による経験職員減少

インフラメンテナンスに関する課題、取組、今後の展開

取 組

■ 直営によるメンテナンス

- ・ 橋梁点検、橋梁DIYの実施、研修等への参加

■ 積極的な土木技術者の採用、育成

- ・ 土木系の資格を有する民間経験者の採用（近年は応募なし）
- ・ 未経験事務職員を工事係へ配属し、技術者サポート体制のもと育成。



今後の展開

- 事後保全から予防保全への転換
- 要対策橋梁(健全度Ⅳ・Ⅲ) への対応方針の確立
- 健全度Ⅰ 橋梁の点検負担軽減（頻度、点検方法等）
- 将来に向けた施設の集約化・撤去（廃止）の検討と、
地元理解への活動



イメージキャラクター
「山県さくら」

お願い ⇒ 技術支援、財政的支援(予防保全対策費含む)、

長寿命化・集約撤去への広報支援